

科目名	両眼視機能診断学演習			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 白井千恵					科目ナンバー	T1C102
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	健康者の両眼視機能に基づいて斜視に伴う異常両眼視機能の病態を理解し、臨床で検査を行い、得られたデータを考察する。						
授業の到達目標	①視野闘争について説明することができる。 ②健康者の両眼視機能に基づいて、斜視と両眼視機能異常との関係を説明することができる。 ③複視、混乱視、抑制、網膜対応異常についてそれぞれの発生機序と臨床的所見を説明し、実際に臨床でそれぞれの検査を行うことができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	白井 千恵	教授	視野闘争について説明できる。			
	2	白井 千恵	教授	抑制について説明できる。			
	3	白井 千恵	教授	生理的複視と病的複視について説明できる。			
	4	白井 千恵	教授	単眼複視と両眼複視について説明できる。			
	5	白井 千恵	教授	調和性複視と背理性複視について説明できる。			
	6	白井 千恵	教授	複視の種類について、その発生機序を含め説明できる。			
	7	白井 千恵	教授	混乱視について説明できる。			
	8	白井 千恵	教授	網膜対応欠如について説明できる。			
	9	白井 千恵	教授	網膜異常対応について説明できる。			
	10	白井 千恵	教授	斜視と両眼視機能異常との関係について説明できる。			
	11	白井 千恵	教授	テーマを決め、文献調査を行い、特別研究における修士論文作成につなげていくことができる。			
	12	白井 千恵	教授	テーマを決め、文献調査を行い、特別研究における修士論文作成につなげていくことができる。			
	13	白井 千恵	教授	テーマを決め、文献調査を行い、特別研究における修士論文作成につなげていくことができる。			
	14	白井 千恵	教授	テーマを決め、文献調査を行い、特別研究における修士論文作成につなげていくことができる。			
15	白井 千恵	教授	演習の振り返りと習熟度確認				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおく。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておく。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し復習しておく。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子：「視能学」第2版 文光堂 シリーズ監修 公益社団法人日本視能訓練士協会：視能学エキスパート「視能訓練学」医学書院 von Noorden GK, Campos EC: Binocular Vision and Ocular Motility. Theory and Management of Strabismus, 6th ed. Mosby						
参考書	弓削経一編：「視能矯正—理論と実際—」増補版第3版 金山出版(絶版のため関連部分をコピーして使用する) 丸尾敏夫編：眼科Mook10「斜視・弱視」 金原出版(絶版のため該当部分をコピーして使用する) 丸尾俊夫編：視能矯正学 金原出版(絶版のため関連部分をコピーして使用する)						
成績評価の方法および基準	レポート50%、口頭試問50% 欠席は1回につき5点減点する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップDPI(視能矯正学の基盤となる学識を習得し実践することができる。)を参照し理解すること。						